

● 二千個の行燈が織りなす光と影 ～松江城と初秋の城下町～



愛嬌のある“しまねっこ”も行燈になってお迎えます

お堀端の通りは歩行者天国となり、松江城から塩見縄手周辺まで様々な行燈が並び、昼間の風情ある街並とは違った幻想的な景観を楽しむ夜の散策も楽しみのひとつです。

無料開放されている塩見縄手・武家屋敷庭園の竹林のライトアップは見る者の心を奪います。和傘、竹を使ったライトや様々な形の行燈が並び「光のアート」の世界を楽しむこともできます。



綺麗な絵が描かれた行燈

松江城周辺をライトアップする光のイベント「松江水燈路 2018」が10月31日まで開催されています。

ライトアップされた国宝松江城、二の丸上の段に並ぶ手作りの行燈や巨大屏風型行燈など、光と影のコントラストが見る人すべてを魅了し幻想的なアートの世界へと誘います。

お城の入口でお出迎えしている「しまねっこ行燈」は昨年に引き続き今年も大人気の一つです！

メインの開催日は土・日曜日、祝日です。屋台の出店やナイトステージなど多彩なイベントが開催され賑わいを見せています。



遊覧船の船着場の水面に映る行燈も綺麗です

水燈路の隠れ家的スポットとしても人気の堀川遊覧船夜間運航もあり、遊覧船から眺める水燈路行燈は美しく神秘的な景色です。

この時しかみられない光と影の世界をぜひご堪能ください。

私達も行燈のやさしい灯火のように、この綺麗なふるさとを今後も見守り続けたいと思います。

●お詫び

エコス通信 9月号（頒布版）にて“宍道湖”を“宍道湖”と表記した箇所がございました。お詫び申し上げます。